

力を合わせてリサイクル



© 鹿児島県ぐりぶー・さくら

げんざい、未来のすべての人たちへ

「ううっ、暑い、暑すぎる。」

今年の夏も、もう暑が続いています。毎年どんどん暑くなり、このままでは地球がふっとうしてしまいそうです。それを防ぐために、私は、多くの人々が環境のことを考え、燃やせるものでも安易に燃やさずにリサイクルしてほしいと思います。そうすれば、資源を生かし、CO₂の量を減らすことができます。そこで、私が大崎町で学んだことが役に立つと思います。

私の住んでいる大崎町は、「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に一人一人が分別しています。リサイクル率80%以上を達成し、全国一位は16回。町民はリサイクルをほこりに思い、努力しています。私の祖父は、大崎町衛生自治会の会長です。衛生自治会は、自分たちでリサイクルを進める集落組織です。私も、祖父を手伝い、リサイクルに取り組んだことがあります。家庭で分別後、資源収集袋に入れ、地域公民館へ持っていきます。28種類に分別するので、出す場所が分からずにまよっている人もいます。その時、衛生自治会や地域のおじいちゃんおばあちゃんが、自分のことのように分別の仕方を教えてくれます。そのおかげで、私もだんだん分別が上手になりました。だから大崎町では、リサイクルを大変だと思わないのだと実感で

総合的な学習の時間に、大崎町のリサイクルが「大崎システム」として世界から注目されていることを学びました。き業と連けい・技術開発し、使用するの紙オムツまでリサイクルしています。外国にも技術しえんしています。

リサイクルは、少し大変ですが、みんなで協働すれば、地球環境を守ることができます。このまま地球温暖化や資源不足がひどくなれば、貧困から争いが起こり、人々の幸せや平和がこわれていくかもしれません。今こそ、一人一人が、地球を大切にすることで世界の人たちの心がつながり、平和な未来を実現していきましょう。未来に向けて、世界中の人たちが、どうか力を合わせてリサイクルをしていきましょう。私たちの手で、地球を平和で笑顔あふれる場所にしていきましょう。

大崎町立持留小学校 4年 吉留花香

